



米病院船「Mercy」を利用したPacific Partnership(「PP」) と日本の貢献について





PPの概要



PPについて

PPとは米海軍を主体とし、2006年より開始された活動で、毎年**インドーアジアー太平洋地域**を艦船が訪問し、**各国政府(パートナー国)、軍、国際機関、NGOとの協力**を通じて、**人道支援／災害救援(HA／DR)活動の即応態勢強化**等を図るとともに、**人的及び自然災害時における医療分野等での即応態勢について地域間の協力を促進する活動**

(「Pacific Partnership is the largest annual multilateral humanitarian assistance and disaster relief (HA/DR) preparedness mission conducted in the Indo-Asia-Pacific, and aims to enhance regional coordination in areas such as medical readiness and preparedness for man-made and natural disasters.」)(米海軍HPより)



PPにおける活動

(1) 医療活動



(2) 施設補修活動



(3) セミナーを通じた交流



(4) 文化交流



寄港国の実情に応じた活動



「マーシー」のPPPへの参加



PPにおける活動(1)

「マーシー」(USNS T-AH 19)



主任務	戦時下またはその他の作戦において緊急に現場での医療を提供
副任務	世界規模で、災害救援及び人道的活動へ病院機能を提供
PP参加実績	2006年度 2008年度 2010年度 2012年度 2015年度 2016年度

(任務は米海軍HPより)



主として医療及び宿泊機能を提供



PPにおける活動(2)

マーシー船内での施術(PP16)

- ・マーシーには12の手術室が存在し、一日辺り30件程度の手術を実施。
- ・口唇裂や白内障の手術が多かった。



一般病棟(術前看護)



神経ブロック(麻酔科)



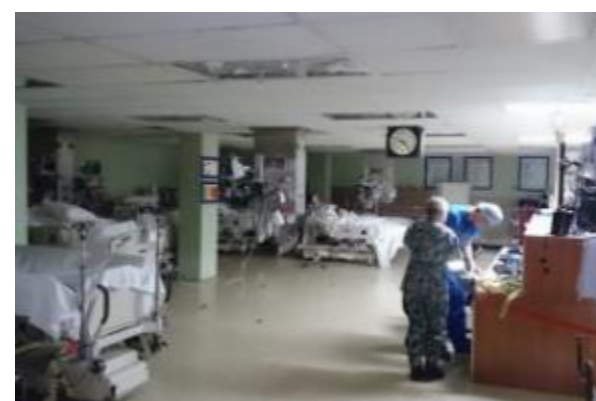
下肢切断(外科)



口唇裂(形成外科)



白内障(眼科)

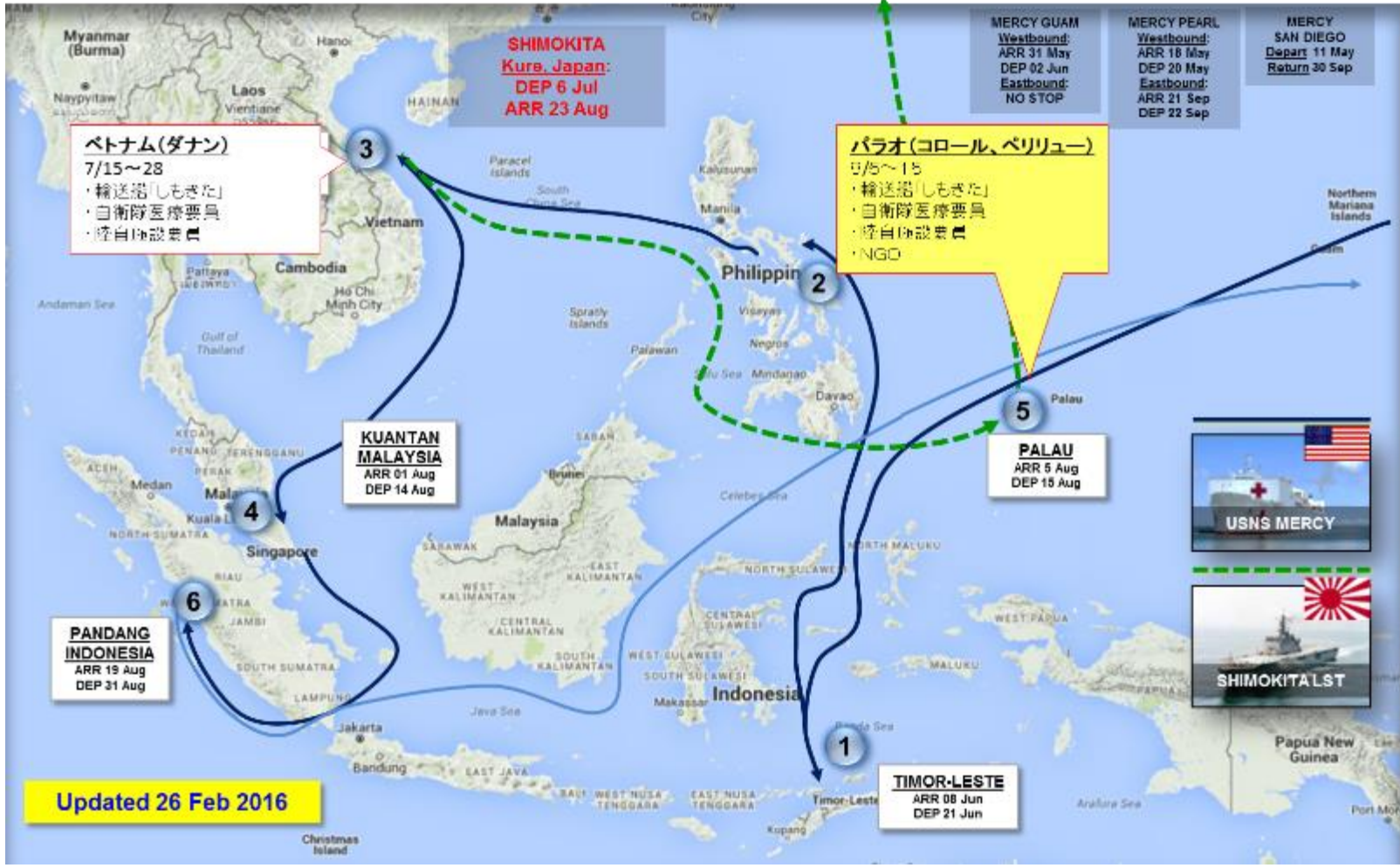


ICU病棟(術後看護)



PPにおける活動(3)

PP 2016の実績



4か国を回り、約5か月の航海を実施



日本のPPへの貢献



防衛省・自衛隊のPPへの貢献実績

(2016年度まで)

年	活動国	活動内容	防衛省・自衛隊の参加実績
2007	ベトナム フィリピン	・医療活動	海自医官、歯科医官（各1名）
2008	フィリピン	・医療活動	海自医官、歯科医官（各1名）
2009	サモア	・医療活動	海自医官、歯科医官（各1名）
2010	ベトナム カンボジア	・医療活動 ・文化交流	<ul style="list-style-type: none"> ・海自輸送艦「くにさき」（乗員等約160名） ・自衛隊医療チーム（医官、歯科医官、薬剤官、看護官、衛生員等約50名） ・NGO（4団体 計22名） * 4団体・・・HuMA、オペレーション・ユニ、Civic Force、ピース・ウィンズ・ジャパン
2011	東ティモール ミクロネシア	・医療活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊医官等（医官、歯科医官等数名） * 当初計画・・・自衛隊医療チーム（40名）、海上自衛隊艦艇、航空自衛隊輸送機派遣予定であったが、東日本大震災のため、規模を縮小
2012	フィリピン ベトナム	・医療活動 ・文化交流	<ul style="list-style-type: none"> ・海自輸送艦「おおすみ」（乗員等約140名） ・空自輸送機C-1及びC-130H ・自衛隊医療チーム（医官、歯科医官、薬剤官、看護官、衛生員等約50名） ・NGO（2団体及び個人 計19名） * 2団体・・・IEMS-JAPAN、AMDA
2013	トンガ パプアニューギニア	・医療活動 ・文化交流	<ul style="list-style-type: none"> ・海自護衛艦「やまぎり」（乗員等約180名） ・空自輸送機KC-767及びC-130H ・自衛隊医療要員（医官、歯科医官、薬剤官、看護官、衛生員等約40名） ・NGO（2団体 計10名） * 2団体・・・ * 2団体・・・IEMS-JAPAN、AMDA
2014	ベトナム カンボジア フィリピン	・医療活動 ・施設補修 ・文化交流	<ul style="list-style-type: none"> ・海自輸送艦「くにさき」（乗組員等約150名）、空自輸送機C-1 ・自衛隊医療要員（医官、歯科医官、薬剤官、看護官、衛生員等約40名） ・陸自施設要員（約10名） ・NGO（1団体 計12名） * 1団体・・・IEMS-JAPAN
2015	フィジー、 パプアニューギニア、 フィリピン	・医療活動 ・施設補修 ・文化交流	<ul style="list-style-type: none"> ・海自補給艦「ましゅう」（乗組員等約150名） ・自衛隊医療要員（医官、歯科医官、薬剤官、看護官等約30名） ・陸自施設要員（約30名） ・NGO（2団体 計10名） * 2団体・・・IEMS-JAPAN、野口医学研究所
2016	東ティモール、 ベトナム、パラオ、 インドネシア	・医療活動 ・施設補修 ・文化交流	<ul style="list-style-type: none"> ・海自輸送艦「しもきた」（乗組員等約170名） ・自衛隊医療要員（医官、歯科医官、薬剤官、看護官等約30名） ・陸自施設要員（約30名）、調整要員約10名 ・NGO（4団体 計19名） * 4団体・・・IEMS-JAPAN、南太平洋眼科医療協力会、野口医学研究所、日本医療政策機構



PP2016 パラオでの活動【7月29日～8月15日】



眼科診療車両(ビジョンバン)での視力検査



ベラウ国立病院での臨床検査



スポーツフォー・トゥモロー事業として現地へスポーツ用品を輸送



「しもきた」内でのNGO医師による白内障手術



ベラウ国立病院での手術



ソフトボール大会



パラオ高校での屋根の塗装作業



ペリリュー島での日米合同慰霊祭



折り紙体験



参加(見学)術式内訳(PP12)

・外科

- 鼠径ヘルニア修復
- 乳腺腫瘍切除
- 胸壁脂肪腫切除
- (腹腔鏡下胆嚢摘出)

・泌尿器科

- (腹腔鏡下腎嚢胞開窓)
- 精巣固定(～摘除)

・婦人科

- 子宮全摘(TAH)
- (腹腔鏡下卵巣嚢胞摘除)



手術風景



検査室